

### くまもと新時代共創基本方針

「くまもと新時代共創基本方針」とは、これまでの地方創生の取組みの成果と課題、さらには本県を取り巻く社会情勢の変化等を踏まえた、 県政運営の基本的な考え方を示すものです。この基本方針のもと、"共に未来を創る"という視点に立ち、県民の皆様と共に熊本の更なる発展 に向けて、県民が主人公の県政を推進します。

県民みんなが安心して笑顔になり、持続的で活力あふれる熊本の未来を共に創る ~世界に開かれた熊本、世界へ羽ばたく熊本~

国の経済安全保障政策の中核となる世界的な半導体関連企業の進出も踏まえ、地域活力の創生に向けた取組みを推進。 ■世界に広がる 人・モノ・ビジネスの国際的な交流も加速・拡大。 (国際)

熊本県の強み(農林畜水産業、バランスの取れた産業、自然環境、防災力等)を更にステップアップさせ、世界に挑戦する県、「くまもと新時代」を目指す。

・地域活力に不可欠な「人材」の育成と、若者や高齢者、障がいのある人、女性など全ての人が自分らしく輝くことのできる社会を実現。 個性と力を発揮できる「活躍の場」の創出を進め、さらなる「人材」の流入も促進。

こうした考えに基づき、「県民が主人公の県政」を進め、県民みんなが安心して笑顔になり、持続的で活力あふれる熊本の未来を ■共に創る (共創) 県民の皆様と共に創る。

取り組みの方向性と実現に向けた他東					
1 こどもた	:ちが笑顔で育つ熊本	2 世界に開かれた活力あふれる熊本	3 いつまでも続く豊かな熊本	4 県民の命、健康、安全・安心を守る	
(施策1)こども・若	者がキラキラ輝く社会づくり	(施策1)「くまもとで働く」人材の確保・育成	(施策1)豊かな自然の保全	(施策1)「緑の流域治水」を核とした創造的復興	
(施策2)家庭や子	育てに夢を持てる社会づくり	(施策2)世界に伍する産業拠点熊本の創出	(施策2) <b>移住定住、関係人口創出</b>	(施策2)災害に強い県土づくり	
(施策3) <b>質の高い</b>	教育・未来を担う人材の育成	(施策3)「食のみやこ熊本県」の創造	(施策3) <b>魅力ある地域づくり</b>	(施策3)健康で長寿な社会の実現	
		(施策4)スポーツ、観光、文化芸術の振興	(施策4) <b>社会の多様性</b>	(施策4)安全・安心の地域づくり	
※の施策	の中で道路整備を推進します。	(施策5)交通の利便性向上		(施策5)水俣病問題への対応	

高規格道路ネットワークの整備 ~すべての道はくまもとに通じる~

「すべての道は熊本に通じる」という考えのもと、物流の効率化・人流の円滑化を図るとともに、九州圏内のダブルネットワーク構築に向け、「九州中央自動車道」

### 激甚化・頻発化する災害への対応

計画的な整備による道路網の強靭化 ~災害に強い道路づくり~

1. 住みやすいまちの形成を図るため、公共施設や医療施設など都市機能を有する地域と周辺の居住地域を結ぶ道路整備を進めます。

4. 広域的な観光活性化を図るため、観光拠点と交通拠点(空港·ICなど)を結ぶ道路や、観光拠点間のアクセス道路の整備を進めます。

3. 産業拠点と広域的な物流結節点との相互アクセス性を向上させ、物流の効率性を高めるための道路整備を進めます。

2. 児童生徒の安全安心な通学路の実現を図るため、通学路の要対策箇所について、整備を進めます。

### 令和2年7月豪雨からの復旧

球磨川の流失橋梁 (10橋)、国道219号及び対岸道路等 (両岸延長約100km) の早期復旧に向 け、国の権限代行により災害復旧事業が進められています。(流失橋梁10橋のうち2橋完成)

■ 整備中区間 ■ ■ 整備中区間

〇〇〇調査中区間 〇〇〇調査中区間

主要地方道 ○○○ 地域高規格道器

## ・令和2年9月に西瀬橋(人吉市)、令和3年5月に坂本橋(八代市)などの仮復旧工事が完了。

・令和4年12月、坂本橋(八代市)など5橋について本復旧工事に着手。 ・令和5年2月、西瀬橋(人吉市)の本復旧が完了。 ・令和5年11月、未着手であった深水橋(八代市)、神瀬橋(球磨村)、相良橋(球磨村)、天狗橋(人吉市)の4橋も本復旧工事に着手



五木村については「"ひかり輝く"新たな五木村振興計画」等に基づき、相良村については「未来

五木村・相良村の振興

につなげるむらづくり」の実現に向けて、「国道445号」や「県道宮原五木線」等の整備による道路 ネットワークの強靭化を推進します。

■国道445号(五木村)「現道拡幅





## 熊本県の概況

熊本県の面積は、約7,409kmであり、全国では15位、九州では鹿児島、宮崎県に次ぐ広さを 有しており、県土の約62%が森林となっています。北部の地形は比較的緩やかですが、北東部 に阿蘇火山、東部に九州山地が走り、西部は遠浅な有明海、八代海に面しており、天草諸島は大 小120余の島々からなっています。 自然公園は、阿蘇くじゅう国立公園、雲仙天草国立公園、耶馬日田英彦山国定公園、九州中央 山地国定公園、7つの県立自然公園があります。

火の山阿蘇で代表される熊本県は、「火の国」と呼ばれ7世紀末に肥後国となりました。近世

にはいり、九州を平定した豊臣秀吉は、その属将の佐々成政を肥後国守としました。その後、肥 後国は二分され、県北地域を加藤清正が、県南地域を小西行長が支配することになりました。 関ヶ原の合戦によって小西行長が滅ぶと、球磨地方を除く領地と天草は加藤清正に与えられ ましたが、球磨郡相良領は相良氏が明治まで支配しました。その後、加藤氏の跡を受けて細川 忠利が肥後54万石の領主として入国し、藩政が承継されました。明治4年の廃藩置県によって 熊本藩は熊本県、人吉藩は人吉県となりました。その後、数次におよぶ変遷を経て明治9年に熊 本県となりました。 現在、14市23町8村の45市町村で構成されています。

### 3.人口 熊本県の人口は、令和2年の国勢調査によると約174万

売業が盛んです。

【道路網】

・熊本県内の道路

道路種別

高速自動車国道

一般国道

県道

市町村道

うち県管理道路

●熊本県内の道路改良率は、

熊本県内道路のうち、県道 と市町村道の改良率が、全

国及び九州平均を下回っ

グラフのとおり。

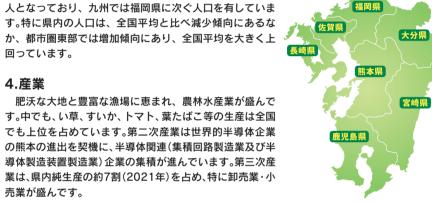
ています。

指定区間

指定区間外

路線数

か、都市圏東部では増加傾向にあり、全国平均を大きく上 回っています。 肥沃な大地と豊富な漁場に恵まれ、農林水産業が盛んで



●熊本県内の道路は、43,035路線、26,297km

(一般国道指定区間外:20路線、893km

このうち県管理道路は、256路線、3,531km

実延長 | 延長割合 | 改良率

23 1,269 4.8% 96.5%

42,758 21,918 83.3% 58.3%

43,035 26,297 100.0% 60.9%

一般国道指定区間外の路線数には、重用区間である3路線(327号、446号、503号)を含む。

・自転車道は含まない。・熊本市内の国道・県道(16路線)は、熊本市管理。

一般国道の数値には、有料道路区間や一般国道の自動車専用道路も含まれる。

20 930 3.5% 95.3% 212 号ほか

252 2,963 11.3% 63.2% 熊本玉名線ほか

256 3,531 13.4% 69.8% 一般国道(指定区間外)

県道:236路線、2,638km)

令和4年3月31日現在(出典:道路統計年報2023)

147 0.6% 100.0% 九州縦貫自動車道、 九州中央自動車道

339 1.3% 100.0% 3号、57号、208号

7月3日夜、梅雨前線が九州北部地方まで北上 し、九州では大気の状態が非常に不安定となり 7月3日から4日までの2日間で、7月の平均雨量 約1か月分を超える激しい雨となりました。 特に、県南地域を流れる球磨川流域では線状 降水帯が形成され、時間雨量30mmを超える激 しい雨が7月4日未明から朝にかけて、8時間に わたり降り続けました。これにより10の橋梁が 流失し、国道219号や県道等で土砂流入、路体流

出などの甚大な被害が発生しました。 流失した10の橋梁と球磨川沿線の国道219 号及び対岸道路(県道等)は、国による直轄代行 工事により、令和5年2月に人吉市の西瀬橋、令 和7年3月に球磨村の沖鶴橋の復旧が完了し、残 り8橋についても本格的な復旧工事が推進され

### 6.令和2年7月豪雨の概要 7月3日夜、梅雨前線が九州北部地方まで北上

し、九州では大気の状態が非常に不安定となり 7月3日から4日までの2日間で、7月の平均雨量 約1か月分を超える激しい雨となりました。 特に、県南地域を流れる球磨川流域では線状 降水帯が形成され、時間雨量30mmを超える激 しい雨が7月4日未明から朝にかけて、8時間に わたり降り続けました。これにより10の橋梁力 流失し、国道219号や県道等で土砂流入、路体流 出などの甚大な被害が発生しました。 流失した10の橋梁と球磨川沿線の国道219

号及び対岸道路(県道等)は、国による直轄代行 工事により、令和5年2月に人吉市の西瀬橋、令 和7年3月に球磨村の沖鶴橋の復旧が完了し、残 り8橋についても本格的な復旧工事が推進され ています。

として整備が進められています。

国幹道法に基づく高規格幹線道路

◆高規格幹線道路の整備状況

九州

熊本

広域道路(交流促進型) 21,500km(490km)

広域道路(地域形成型) 96.100km(2.010km)

国土開発幹線道路(高速自動車国道)

·本県と全国、九州比較 令和7年(2025年)3月1日時点

計画延長 供用延長

14,000 12,324 88.0%

1,513 1,349 89.2%

の高い規格(概ね60km/h以上のサービス速度)を有する道路です。

横軸を形成する九州中央自動車道の整備が遅れています。

また、地域高規格道路の整備は、18.1%の供用率に留まっています。

226.8 199.9 88.1%

約11,520km(全国)

※九州縦貫自動車道、九州中央自動車道

道路の現況

■高規格幹線道路



山腹崩壊により寸断さ 崩落した国道325号阿		令和3年3月に開通	<b>値した新阿蘇大橋</b>			
【令和2年7月豪雨の概要】(令和3年3月30日現在)						
発生日	令和2年(2020年)7月3日~4日					
八代市、人吉市、芦北町、津奈木町、錦町、あさぎり町、 多良木町、湯前町、水上村、相良村、五木村、山江村、 球磨村など						
	全壊		1490			
被害規模	半壊		3098			
<b>放舌</b> 規悮	床上浸水	294根				
	床下浸水		427			
VAN DAY AND SER SEE	道路	1560箇所	517億			
道路被害額						



国土交通大臣の指定に基づく高規格幹線道路

一般国道の自動車専用道路

約2.480km(全国)

州縦貫自動車道 428.0 134.8 134.8 100.0%

663.0 226.8 199.9 88.1%

九州中央自動車道 95.0 42.0 23.0 54.8%

南九州西回り自動車道 140.0 50.0 42.1 84.2%

令和7年(2025年)3月1日時点

令和7年(2025年)3月1日時点

120.0 60.0 11.9 19.8%

30.0 30.0 4.1 13.7% 70.0 70.0 18.3 26.1%

85.0 30.0 0.0 0.0%

305.0 190.0 34.3 18.1%

※南九州西回り自動車道

・本県における状況

◆地域高規格道路の整備状況

本県における状況

中九州横断道路

熊本環状道路

### 有明海沿岸道路 三池港IC連絡路 整備状況

熊本天草幹線道路 宇士道路

や「中九州横断道路」、「南九州西回り自動車道」、「有明海沿岸道路」など、高規格道路の整備を促進します。

また、熊本都市圏と県内主要都市を90分で結ぶ「90分構想」の実現に向け、熊本天草幹線道路の整備を推進します。

高速自動車国道 地域高規格道路 新直轄区間 一般国道自動車専用道路

■人を育てる

(人材)



## 南九州西回り自動車道 芦北出水道路(水俣~熊本県境) 整備状況

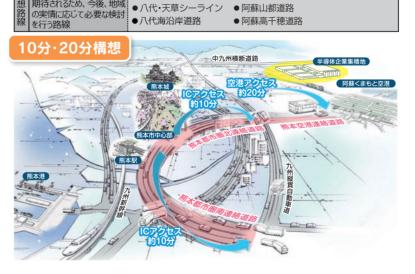
## 熊本県新広域道路交通計画

熊本県・熊本市では、新たな国土構造の形成、グローバル化、国土強靱化などの社会・経済の要請に応えるとともに、総合交通体系の基盤としての道路の役割強化やICT・自動運転 等の技術の進展を見据え、今後20~30年間の中長期的な視点で検討を行い、「熊本県新広域道路交通計画」を令和3年6月に策定しました。 本計画では、九州中央自動車道・南九州西回り自動車道・中九州横断道路・有明海沿岸道路・熊本天草幹線道路等に加え、熊本都市圏における慢性的な交通渋滞など、喫緊の課題 に対応するため、熊本市中心部から高速道路インターチェンジまでを約10分、熊本空港までを約20分で結ぶ「10分・20分構想」を掲げ、「熊本都市圏北連絡道路」「熊本都市圏南連 絡道路」「熊本空港連絡道路」を3つの新たな高規格道路として位置づけました。

この「10分・20分構想」の早期実現に向けて県と周辺自治体、経済界等が一体となって取り組むため、令和4年8月に「熊本都市圏3連絡道路建設促進協議会」を設立し、令和5年9月 には、熊本都市圏のみならず、県内全ての市町村が参画しました。また、令和5年11月に熊本都市圏3連絡道路有識者委員会を設立し、「住民参加型の道路計画検討」に着手しました。 令和7年3月に第2回有識者委員会を開催し、地域や道路の課題、その解決に向けた政策目標の設定及び意見聴取方法について議論しました。







### 道路啓開計画

大規模災害時に、必要最低限の瓦礫処理や放置車両の移動等を行い、救援・支援を行うルートを確保する道路啓開の 手順・体制等を定めた「熊本県道路啓開計画」を策定しました。



らの救援が困難な場合を

(1) 道路啓開の対象 ・「熊本県緊急輸送道路ネットワーク計画」に位置づけられた緊急輸送道路を

(2) 主な内容 [基本方針] ・発災後、直ちに道路啓開調査を実施し、短時間で道路啓開を実施。 ・様々な災害を想定し、事前に橋梁の耐震化や道路防災対策などを優先的に

[啓開する道路の設定] ・県内で甚大な被害が想定される、布田川・日奈久断層帯など6つの地震に 対して、優先的に啓開すべき道路を予め設定。 ・天草地域において、陸路か

想定し、海上からの支援を 予め計画。(LCAC(エア クッション型揚陸艇) の上 陸適地の選定等) [啓開作業の体制] ・迅速な啓開を実施するた め、タイムラインや連絡・ 実施体制を作成。 (3) その他 ・能登半島地震での災害対応

から得られた教訓も計画に ・道路管理者、県警、自衛 隊、建設業協会、電力会社 等が協働して計画を策定。 図 天草地域における海上からの支援イメージ

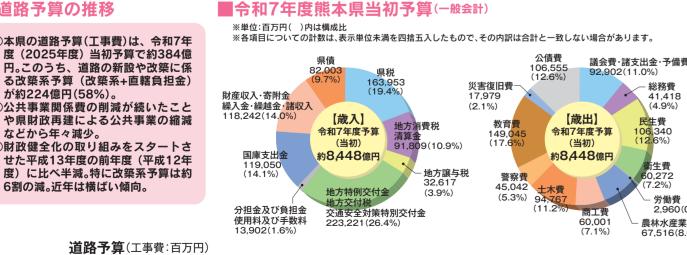


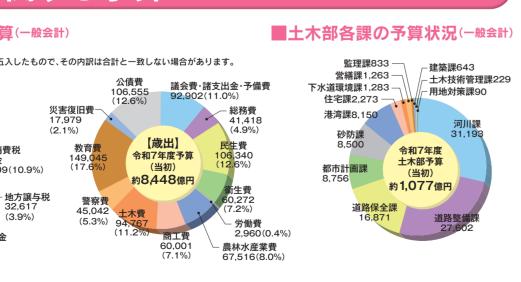






### ■道路予算の推移 ○本県の道路予算(工事費)は、令和7年 度(2025年度) 当初予算で約384億 円。このうち、道路の新設や改築に係 る改築系予算(改築系+直轄負担金) ○公共事業関係費の削減が続いたこと や県財政再建による公共事業の縮減 などから年々減少。 ○財政健全化の取り組みをスタートさ





高規格幹線道路は、自動車の高速交通(80~100km/h)の確保を図る自動車交通網

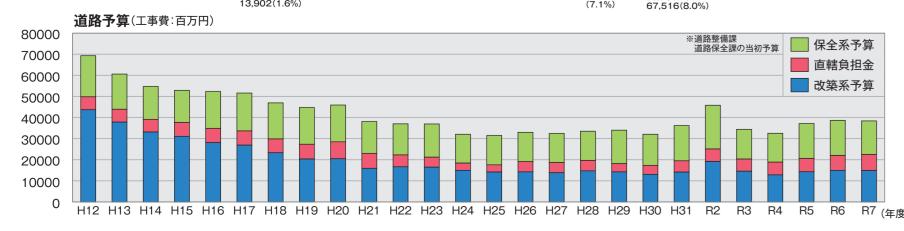
高規格幹線道路 約14,000km(全国)

地域高規格道路は、高規格幹線道路を補完し、地域相互の交流促進や、広域交通拠

●熊本県内の高規格幹線道路の整備は、九州縦貫自動車道など縦軸の整備に比べて、

点等への連絡強化を図るため、自動車専用道路又はそれと同程度の機能を有する質

を構成する自動車専用道路であり、高速自動車国道及び一般国道の自動車専用道路



### 熊本県 土木部 道路都市局 道路整備課・道路保全課 熊本市中央区水前寺6丁目18-1 TEL:096-383-1111(代) ホームページアドレス:https://www.pref.kumamoto.jp/

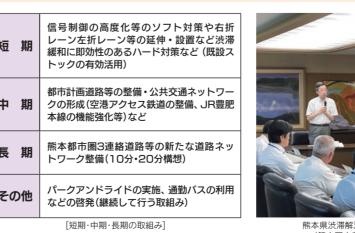


### 発行者:熊本県 土木部 所 属:道路都市局 道路整備課 発行年度:令和7年度4月

### 熊本都市圏の渋滞対策

### 渋滞解消推進本部の取組み

熊本都市圏の渋滞問題は、特に菊池南部地域における半導体企業の進出なども相まっ て、今後、対策を講じなければ更に深刻化することが予想されます。県では、渋滞対策を迅 速かつ強力に推進するため、令和6年6月に渋滞解消推進本部を設置し、短期・中期・長期 の対策に、関係者が一丸となって取り組んでいます。



■ 車の『流れ』を良くする取組み

# 熊本県渋滞解消推進本部会議 (第1回本部会議R6.6)

●加速化対策(短期):交差点改良や信号制御の最適化 ⇒都市圏東部エリアやセミコン周辺エリアを中心に、3年以内に、30か所の交差 点改良等を実施する。

●抜本対策(中期):主要渋滞箇所 約80か所の改善 ⇒国・県・市で連携を図り、道路ネットワーク整備等を着実に推進し、10年以内 に、主要渋滞箇所約80か所の改善に向けて取り組む。 ●抜本対策(長期):広域道路ネットワークの構築

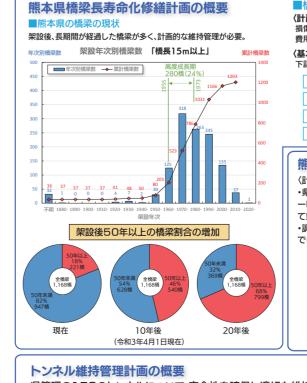
### 世界的半導体企業の進出を契機として新生シリコンアイランド九州を実現させ、その効 果を日本全体に波及させるため、中九州横断道路の整備を促進します。 また、半導体関連産業の集積に伴う物流の効率化と人流の円滑化を図るため、県道大津 植木線の多車線化や中九州横断道路合志インターチェンジへのアクセス道路などの整備 を短期・集中的に進め、基幹となる道路ネットワークの強化に取り組みます。



セミコンテクノパーク周辺地域の道路整備

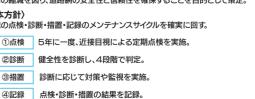
### 戦略的な維持管理・更新

県民生活の安全安心を確保するため、道路施設等について、計画的な整備や必要な耐震対策、戦略的な維持管理・更新を徹底します。 これまでに、「橋梁」「舗装」「トンネル」「道路防災」について、道路ストック総点検の結果に基づいた各維持管理計画を策定し、施設の長 寿命化、ライフサイクルコストの縮減、予算の平準化を図っています。

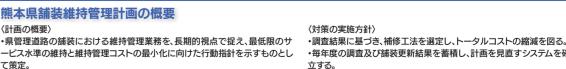


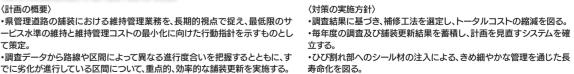
道路防災施設整備・維持管理計画の概要

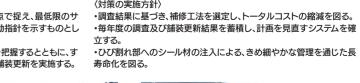
■橋梁長寿命化修繕計画 〈計画の目的〉 損傷が小さいうちに計画的に補修を行い、橋梁の長寿命化並びに補修等に係る 費用の縮減を図り、道路網の安全性と信頼性を確保することを目的として策定 ·記の点検・診断・措置・記録のメンテナンスサイクルを確実に回す。 ①点検 5年に一度、近接目視による定期点検を実施。 ②診断 健全性を診断し、4段階で判定。 ③措置 診断に応じて対策や監視を実施。















県管理の153のトンネルについて、安全性を確保し適切な維持管理を行うために計画を策定。管理水準を適切に設定し長寿 命化を図り、予算の平準化及びコスト縮減に取り組んでいます。

トで、緊急輸送道路等を考慮した効率的な整備及び維持管理コストの適正化を図るために策定。

